



体をいっぱい使って絵の具で遊びました！
●6月7日・どろどろアート



手をかざすと幻想的な光がきらめきます！森脇裕之さんの「光の波紋」より
●7月11日・魔法の美術館展オープニングイベント

秋田県立近代美術館ニュース・アーク

ARIK no.70

Akita Museum of Modern Art

この夏、美術館が笑顔に包まれました。



ママといっしょにポン！きれいにうつったよ！！
●7月12日・スタンプ版画で楽しもう



箱の中で光が混じり合って・・・わぁ、キレイ！
●8月9日・魔法の美術館ワークショップ「光の箱をつくろう」



自作のマスコットと、はい！チーズ！！
●5月17日・フェルト毛玉マスコットを作ろう！



「ネライオン」をイメージした演奏が大好評でした！
●5月10日・トリオ・ドルチェ・コンサート



今年は油絵の作品がお目見えです！
●8月6日・能代エナジウムパーク出前美術展



帰ってきたニャジロウ館長！決めポーズ??
●6月14日・ネライオン展 ニャジロウ1日館長



岩合光昭 写真展 ネコライオン

2015.4.25(土) - 7.5(日)

ネコは小さな
ライオンだ
ライオンは
大きなネコだ

世界を舞台に活躍する動物写真家・岩合光昭さんがこれまで撮りためてきたネコとライオンの写真をご紹介します。「ネコライオン」。同じネコ科でありながら大きさも生活も異なるネコとライオンですが、今回は両者のよく似たポーズ、似た状況の写真一組一組を観比べながら、彼らの共通点や違いを通してそれぞれの魅力を味わえる展示構成でした。展示した作品175点は、岩合さんご本人が半年以上かけて膨大な量の中から選び出したそうです。関連イベントもたくさん開催しましたが、中でも会期2日目に行ったアーティストトーク&サイン会は500人以上の参加者を迎え大盛況でした。岩合さんが語る撮影の思い出や秘話に、うなずきながら耳を傾けるお客様の笑顔が印象的でした。また秋田市大森山動物園の小松守園長さんをゲストに迎え開催したスペシャルギャラリートークでは、生きるために不可欠な「食」の大切さ、子へと受け継がれていく親の愛情についてなど、心温まるお話をいただきました。(担当:藤井、櫻尾)

- 岩合光昭さんアーティストトーク&サイン会 4.26
- ワークショップ「大画面に描こう！」 5.3
- ワークショップ「フェルト毛玉マスコットを作ろう！」 5.17
- ABSアナウンサーさんとのギャラリートーク 5.24
- 出演：八重樫葵さん
- スペシャルギャラリートーク 6.6
- 出演：秋田市大森山動物園 小松守園長、ABS 榎田恵理子さん
- ナジャロウ1日館長 6.14



美術館で
あなたの花を
見つけよう。

2015年コレクション展第1期

花はどこにある Where is a Flower?

2015.4.8(水) - 7.12(日)

「Where is a Flower? 花はどこにある」では、第1、2展示室において、春を待ちわびる冬と花が咲き出す春を感じさせる作品を選んで展示し、冬の厳しさとその後に訪れる春の喜びを感じていただきました。

また、第3展示室では今年(2015年)1月に亡くなられた日本画家・信太金昌を追悼する展示を行いました。秋田県三種町に生まれた信太は、東京美術学校を卒業後、創造美術、新制作協会展、創画展を中心に作品を発表しました。自然との真摯な対話の中から生み出された作品は、鑑賞者を信太独特の世界へと導いてくれました。(担当:保泉)

○ギャラリートーク

4.12、6.7



江戸から明治にかけて描かれた、異国情緒あふれる花の絵も展示しました。

2015年コレクション展第2期

所蔵品にみる中国 images of China

2015.7.15(水) - 10.4(日)



中国の「青海湖八景」を描いた、寺崎廣業の作品を鑑賞中です。

近くて遠い? 憧憬の中国。

今年度コレクション展第2期では、小田野直武筆《唐太宗・花鳥山水》(重要文化財)の展示に合わせて、所蔵品の中から中国を主題とする作品33点をご紹介します。中国の花鳥画の繊細で写実的な表現、西王母や羅浮仙などの不可思議な物語に彩られたキャラクター、日本の絵師・画家たちがあこがれた雄大な風景など、魅力的な画題に惹きつけられていた作者らの心情がうかがわれます。

漢字は古代中国に発祥し、現在も両国で使い続けられているもっとも身近な共通のツールです。書作品ではその形が美しい作品、中国の漢詩や名言を書いた作品を展示しています。松井如流の《龍虎》は、太古の漢字・金文がもつエネルギーあふれる造形に作家のモダンな感覚を融合させた作品です。絵画・書、ともに長大な歴史、豊かな文化に支えられた造形の数々が楽しめます。(担当:鈴木)

○ギャラリートーク

7.25、8.16

オープニングイベント当選者が一足先に「魔法」を体験！作家の坪倉輝明さん（左から4人目）を囲んでテープカットを行いました。
魔法の美術館展オープニングイベント ●7月11日



たくさんの方にご来場いただきました！
○入場者5万人記念セレモニー ●8月30日

魔法の美術館

—見て、触れて、遊ぶ 光のアート—

2015.7.11(土)–9.13(日)

「この夏、美術館が魔法に包まれる」のキャッチコピーで開幕した「魔法の美術館—見て、触れて、遊ぶ 光のアート」。県内外からたくさんのお客様をお迎えし、大好評のうちに幕を閉じました。この展覧会は、見るだけでなく、触って楽しみながら体感的に現代アートを味わうことができるため、小さいお子様から大人まで世代を超えてアートに親しんでいただくことができました。

展覧会初日は当館初のオープニング・イベントを開催。抽選で選ばれた20ペアのお客様に、開幕を記念してテープカット、くす玉割を行っていただきました。出品作家の坪倉輝明さんから「作品の発表の場を設けていただいて嬉しい。皆さん楽しんで欲しい。」という挨拶をいただいた後、一足早く展覧会をお楽しみいただきました。ワークショップ「光の箱をつくろう」は、募集開始からわずか3日で定員になるほどの人気ぶり。完成した箱は、まるで魔法をかけたかのようにきらきらと煌めき、参加した皆さんから歓声があがるほどでした。初めて美術館に来たというお客様が多かったこの展覧会。アートの楽しさを知るきっかけとなったことでしょう。（担当：西野、木村）

この夏、美術館が魔法に包まれました

- ワークショップ「光の箱をつくろう」 8.9
講師：松村 泰三氏（東北芸術工科大学准教授）
 - ミュージアムコンサート「サクソ四重奏」 8.30
出演：河道麻美子さん（ソプラノサクソ）、松橋由美子さん（アルトサクソ）、佐藤友子さん（テナーサクソ）、進藤真衣子さん（バリトンサクソ）
- 写真：（右上1番目）出品作り、重田祐介「がそのもり」
（右上2番目）同じく、的場やすし/山野真吾/徳井太郎「SplashDisplay」

上半期に実施したそのほかの事業

キンビ創作体験プログラム

- アクリル画教室 静物を描くⅡ 5.24、30、31
講師：大須賀 勉氏（画家）
- だるだるアート（※未就学児対象：キッズ・アートの教室） 6.7
講師：当館学芸主事
- スタンプ版画で楽しもう 7.12
講師：当館学芸主事
- 木のクラフト教室 木でつくろう！森の動物たち 8.2
講師：当館学芸主事
- 型染め教室 ランチョンマットをつくろう 9.5、6
講師：森 香織氏（秋田公立美術大学助教）

ミュージアムコンサート

- トリオ・ドルチェ コンサート（ネコライオン展開催記念） 5.10
出演：北嶋奏子さん（ヴァイオリン）、吉田妃呂子さん（フルート）、佐々木久美子さん（ピアノ）
- 横手マンドリンクラブ・ミュージアムコンサート 7.19
出演：横手マンドリンクラブのみなさん

館外展示など

- 出前美術館 能代エナジウムパーク 8.6～16
小坂町立小坂小学校・中学校 9.2～7
上小阿仁村立上小阿仁小中学校 9.10～14
- ネットワーク事業 会場：秋田県立図書館特別展示室
第1期：画家たちの残した記録 9.28～10.25

滝平二郎の世界

2015年9月19日(土)～11月23日(月・祝)

名作絵本「モチモチの木」や「花さき山」の挿絵画家として知られる、滝平二郎（たきだいら・じろう）の展覧会が、秋田で初開催されています。日本中で、世代を越えて愛され続けている滝平作品ですが、秋田に深いゆかりがあることは、あまり知られていないのではないのでしょうか。本展では、初期の木版画、名作絵本の原画、新聞連載の「きりえ」に加え、絵本「八郎」や「三コ」の原画など、秋田ゆかりの作品も多く展示されています。滝平二郎が横手市で制作した木版画「秋田にて」も出品されていますので、まだご覧になっていない方はお見逃しなく！（担当：奈良、鈴木）



滝平二郎《花さき山 COVER》1969年 ©JIRO TAKIDAIRA OFFICE Inc.

- スペシャル・ギャラリートーク 9.19
- ミュージアム・コンサート 10.4
- 「きりえ」ワークショップ 11.1

大好評開催中!!

REPORT! ●●●●●●○

『ふれんどりーギャラリーの学校による活用』モデル事業 「美術の時間」展 vol.4 ～生徒の学びと授業のプロセス～

これまで一般の方のための展示スペースであった「ふれんどりーギャラリー」を子どもたちの作品等の発表の場とし、より親しみやすい美術館にすることを目的とした事業です。

展示したのは大仙市立西仙北中学校の美術の授業の取組。作品の他、制作のプロセスが分かるようなメモやスケッチ、授業風景のDVDも併せて展示されました。

来年は県内全ての学校へ公募します。美術館で子どもたちの作品等を展示してみませんか？（担当：西野）

あなたにとっての「美術の時間」とは？



●美術館の展示台や照明を用いた本格的な展示です！

INFORMATION ●●●●●●●○

これからの展覧会

特別展

- 峯田敏郎彫刻展
「記念撮影ー存在と気配そして空気ー」 11.29～2016.2.7
- 「食～自然からの恵み～」展 2016.2.13～4.17

コレクション展

- 第3期 横手・湯沢の洋画家たち 10.7～2016.1.11
- 第4期 高橋功 永遠からの振動 2016.1.22～4.10

ネットワーク事業 第2期（秋田県立図書館 2階展示室）

- 秋田の工芸 その技と美 12.11～2016.1.31

美術館HPは「秋田県立近代美術館」を検索！美術館Twitterもご利用ください

つくる、しる、たのしむ

つくる

- みんなでつくる
小学生低学年の児童から一般まで参加できます。
小学生低学年の児童が参加する場合は保護者要同伴。
- 粘土でマスコットキャラクターをつくろう！ 12.6
- 専門的につくる（中学生以上一般）
- 滝平二郎展 きりえワークショップ 11.1
- 日本画教室『花を描く』（全2回） 11.7、8

しる・たのしむ

- 「太田徹&ザ・キャットウォーク・バンド」コンサート 10.4
- 声楽とピアノによるデュオコンサート 12.20
- 第17回秋田ロシア音楽祭記念コンサート 2016.2.14

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日 12.29～31、2016.1.12～21（予定）

013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46（秋田ふるさと村内）
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858
E-mail: akitamma@rnac.ne.jp

交通 車●秋田自動車道・横手インターより3分
バス●横手バスターミナル（JR横手駅近く）～ふるさと村 15分

●発行編集・秋田県立近代美術館
●2015年9月30日発行

